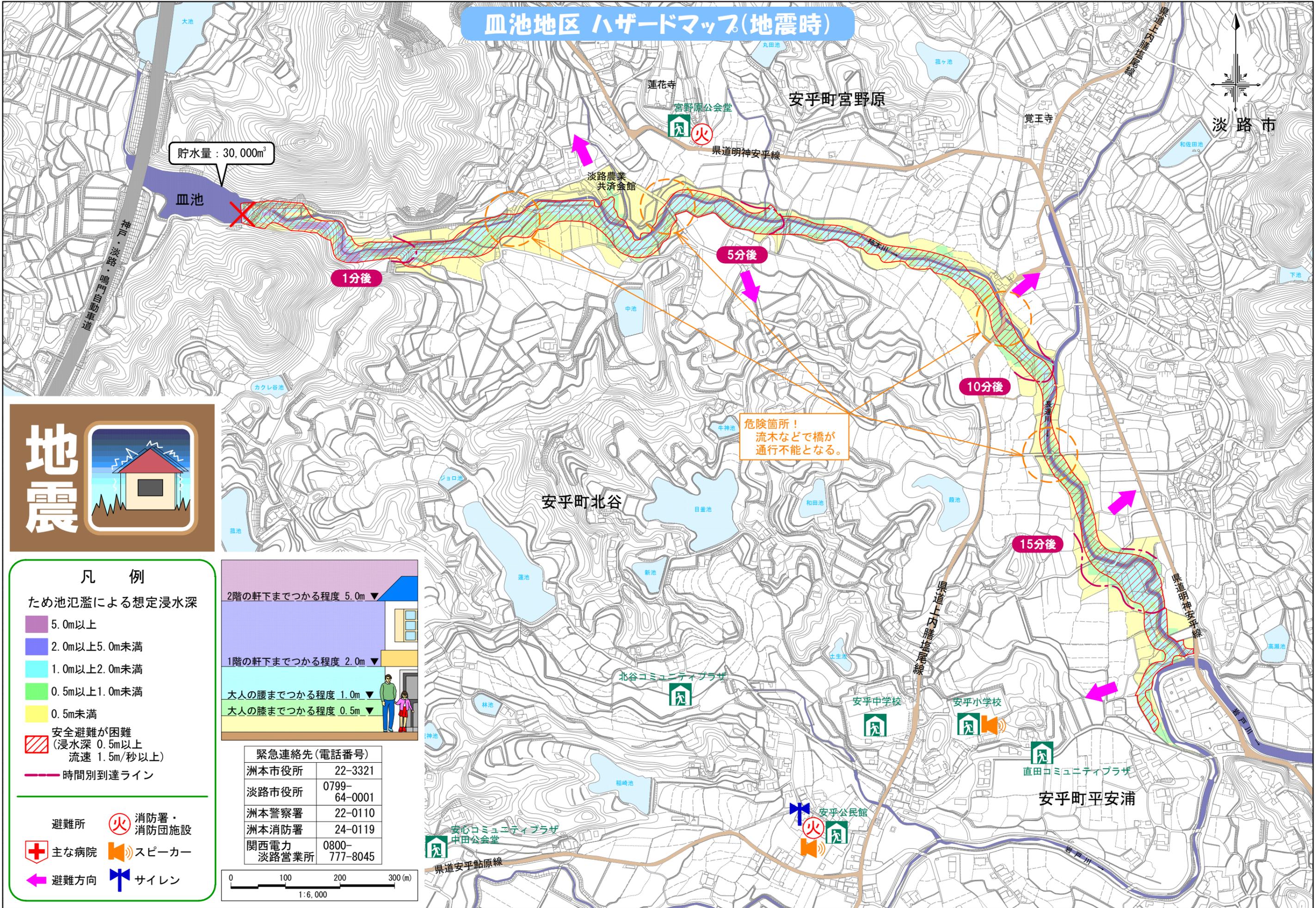
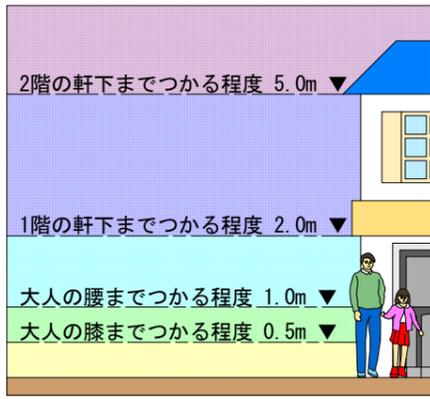


皿池地区 ハザードマップ(地震時)

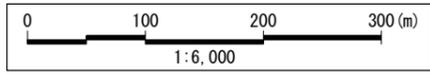


- ### 凡例
- ため池氾濫による想定浸水深
- 5.0m以上
 - 2.0m以上5.0m未満
 - 1.0m以上2.0m未満
 - 0.5m以上1.0m未満
 - 0.5m未満
 - 安全避難が困難 (浸水深 0.5m以上 流速 1.5m/秒以上)
 - 時間別到達ライン



緊急連絡先(電話番号)	
洲本市役所	22-3321
淡路市役所	0799-64-0001
洲本警察署	22-0110
洲本消防署	24-0119
関西電力 淡路営業所	0800-777-8045

- 避難所
- 消防署・消防団施設
- 主な病院
- スピーカー
- 避難方向
- サイレン



ため池決壊の起こり方とその被害

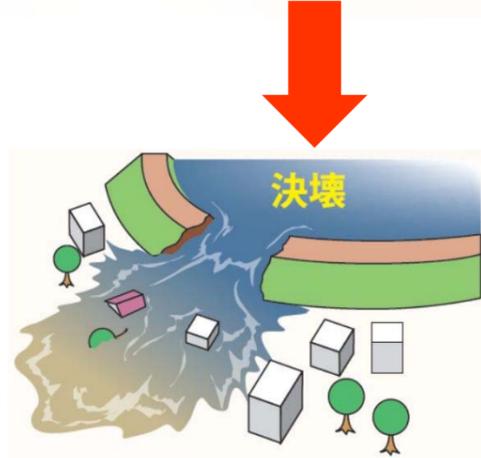
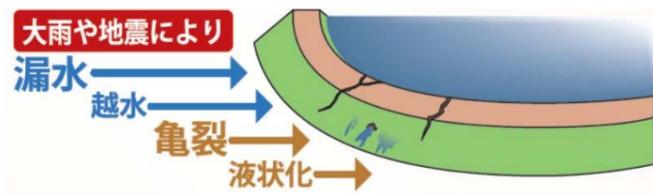
① 南海地震や直下型地震で、堤防が破損する

地震同様に、大雨の際にも堤防が破損する恐れがあります。

② 破損した堤防が、貯水に耐え切れず「決壊」

③ ため池決壊による被害

- ・大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- ・山津波、内陸部における津波とも呼ばれています。
- ・建物や車は押し流されます。
- ・道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。



ため池決壊とは

ため池は洲本市におおよそ 7000ヶ所あり、水田のかんがい用水や豊かな自然の生態系保存、安らぎの空間として親しまれています。しかし、管理の行き届かないものや江戸時代以前につくられ、老朽化しているものも多く、突然決壊する例や豪雨や地震を引き金に決壊する例が増えています。

ため池決壊の原因

- ・堤防が変形している
- ・水が漏れだしている
- ・余水吐に流木や土砂、ゴミなどが溜まっている
- ・斜樋、底樋が壊れて放流できない
- ・土石流が、ため池に流れ込む
- ・大雨による水位上昇
- ・地震による陥没やひび割れ

※異変を感じたら市役所に連絡してください。

ため池決壊から身を守る

- ・地震、大雨の情報に注意しましょう
- ・避難する時は、ため池の直下流は避けましょう
- ・地形の高い場所へ避難しましょう

地震 その時10のポイント

地震だ！ まず身の安全

地震時の行動

- ・揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
 - ・丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れが収まるまで様子を見る。
- 【高層階(概ね10階以上)での注意点】
- ・高層階では揺れが数分続くことがある。
 - ・大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



地震直後の行動

落ちついて火の元確認 初期消火

- ・火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- ・出火した時は、落ちついて消火する。



あわてた行動 けがのもと

- ・屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- ・瓦・窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



窓や戸口を開け 出口を確保

- ・揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。



門や塀には近寄らない

- ・屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



地震後の行動

火災や津波確かな避難

- ・地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。
- ・沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く非難する。

正しい情報確かな行動

- ・ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

- ・わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って救出・救護

- ・倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に安全確認 電気・ガス

- ・避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締め、避難する。



災害用伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル171は、地震、噴火などの災害発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

録音

被災したAさんが、無事であることを伝えたい

171 + 1 + Aさんの自宅の電話番号

再生

家族や友人が、Aさんの安否を確かめたい

171 + 2 + Aさんの自宅の電話番号

登録できる電話番号は被災地区の電話番号です。市外局番からのダイヤルが必要です。

【利用可能な電話】

一般電話(プッシュ回線、ダイヤル回線)、公衆電話、携帯電話、INSネット64・1500、メンバーズネット、災害時特設公衆電話

携帯電話各社「災害用伝言板」

各社のトップメニューから「災害用伝言板」を開く

⇒ 伝言を登録する場合

⇒ 「登録」を選択

⇒ 伝言を入力する(全角100文字まで)

⇒ 伝言を確認する場合

⇒ 「確認」を選択

⇒ 被災地の方の携帯番号を入力して伝言を見る